

白老町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価検証の概要

- 27年度に「まち・ひと・しごと創生法(国)」が制定され、本町においても同年10月に、「白老町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に資する取組みを推進してきた。
- 30年度は本戦略策定後、3度目の予算編成にあたるため、今回の評価検証は3回目となる。
- 30年度は国の交付金を活用し、象徴空間開設を見据え、受入体制の整備・構築を目指し柱1～柱3を重点的に取り組んだ。(以下、★印が交付金を活用した取組み)

1 柱ごとの取組状況(主なもの)

柱1	象徴空間を中心とした多文化共生のふるさとづくり 【5施策24取組】
	※象徴空間100万人の受け皿整備、官民一体となった機運醸成等に係る取組み
	○象徴空間周辺整備の推進(白老駅自由通路工事への着手、ポロト公園線改良舗装、観光商業ゾーンの実施設計など) ★象徴空間開設を見据えた受入体制整備(アイヌ手工芸担い手育成、新規観光体験プログラム造成など) ★象徴空間に係るPRプロモーション(北海道新幹線nittan戦略会議、沖縄・仙台等大都市圏へのプロモーションなど) ★象徴空間500日前カウントダウンセレモニーの開催と愛称ウポポイ、ロゴマークの決定 ★暮らしの共生をテーマとした多文化共生社会シンポジウムの開催
柱2	観光による地域づくり・交流促進と移住定住の推進 【5施策18取組】
	※観光誘客、交流人口増、移住定住の推進等に係る取組み
	★新規観光体験プログラム及びプロモーション映像、ガイド講座テキストの造成 ○アヨロ鼻灯台を中心とした観光周遊ルートの検討 ○子育て世代及び移住者に対する町有宅地の取得費用助成 ○移住定住に係る都市圏フェアへの出展及びPR用フォトブックなどのツール作成 ○地域おこし協力隊員の拡充及び起業支援
柱3	特色ある産業・地域資源を活用したしごとづくり 【5施策18取組】
	※新産業の創出や高付加価値化及び雇用環境の充実、産業基盤の強化に係る取組み
	★アイヌ文化を基とした商品開発及び商品提案(アイヌ紋様入りエコバック・紙袋・包装紙、季節のオハウの提案など) ○空き店舗活用等の創業支援(3件)、商品開発等(5件) ○ふるさと納税による特産品PR(421,630千円) ○水産業の未利用資源の活用検討や青年就農者給付金(1名)、牛舎整備資金補助(1件)など一次産業の基盤強化 ○中小企業等を対象とした低利融資、進出企業の増築など
柱4	結婚・出産・子育てが誇れる地域づくり 【6施策27取組】
	※若い世代の出会いの創出や子どもの産み育てやすい環境整備に係る取組み
	○地域結婚支援事業連携協定による苫信結婚相談所を活用した出会いの場の創出 ○男性特定不妊治療費の助成、育児パッケージの贈呈 ○海の子保育園の民営化開始 ○子ども医療費助成、保育料の減額、5歳児の一部無償化、中学生のピロリ菌検査への助成 ○Pepperによるプログラミング教育の導入
柱5	絆が育む豊かな暮らしづくり 【5施策26取組】
	※安全・安心のまちづくり、コミュニティ活動の拡充、共生社会の実現に係る取組み
	○災害時における公共施設内のWi-Fi環境の整備 ○自殺対策計画の策定及びゲートキーパー研修の実施 ○地域循環バス元気号及びデマンド交通の推進 ○みらい創りプロジェクトの実施(★)、地域担当職員による地域点検、がんばる地域コミュニティ応援事業の創設 ○空家等対策計画の策定